

# ☆READ 2022☆第8弾

先生方によるおススメ本紹介企画・2023年1月



## 「お勝手のあん」

中学教務部長・数学 橋本望

柴田よしき/著・(株)角川春樹事務所/発行  
江戸時代後期、人並外れて優れた嗅覚を持つ少女「やす」が旅籠のお勝手女中として育っていく物語シリーズです。自分とは職種も時代も異なりますが、彼女の生き方や仕事に対する真摯な向き合い方には頭が下がるものがあり、参考になります。



## 「ヨンケイ」

中学3学年アドバイザー・保健体育 中原浩一  
天沢夏月/著・(株)ポプラ社/発行

4人のバトンが繋がる時、感動に胸が熱くなる。チームワーク最悪な男子高校生が4×100MRに挑む。走ることに興味がない人も運動が嫌いな人も読んでいる時に風を感じるはずです。涙が出る熱い感動で胸がいっぱいになります。この本からほとばしる「熱」をみんなに味わってほしい。



## 「海と毒薬」

中学3学年A組担任・理科 鳩谷友一郎

遠藤周作/著・(株)講談社/発行

終戦間際の白い巨塔のお話。医者の正義とは何か、某大学医学部の課題図書ともなっていた周作の秀作(下手くそでごめん)。暗くカビ臭い当時の病院の雰囲気が伝わってくる。肺の摘出手術の描写がエグイ、まるでカエルの解剖。生命科学に進む人は是非!



## 「残り全部バケーション」

中学3学年B組担任・数学 加藤雅之

伊坂幸太郎/著・(株)集英社/発行

5つの短編小説と思いきや、それぞれの物語が伏線になっていて微妙に繋がっている、いつもの伊坂幸太郎作品です。最後まで読み終えた時の爽快感は計り知れない。「残り全部バケーション」と思いながら人生を過ごせると楽しいかも。



## 「ジョハリの窓」

中学3学年C組担任・英語 相馬邦成

久留あさ美/著・朝日出版社/発行

自己分析でたびたび用いられる「ジョハリの窓」。  
①自分も他人も知っている自分②他人は知らないが自分は知っている自分など、4つの視点で自分を見つめ直します。筆者の経験を通して、私たちにも気づきを与えてくれる本だと思います。



## 「文選(詩編)下」

中学3学年A組副担任・国語 川村卓也

内田泉之助、網祐次/著

(株)明治書院/発行

昔の中国の詩や文章を集めたアンソロジー。昭明太子という人が編纂を命じたもの。漢文で書かれているので読むハードルは高いが、是非チャレンジしてほしい。個人的に好きな詩の文言は「古詩十九首」の「為樂當及時、何能待來茲」。読める?



## 「知の体力」

中学3学年B組副担任・歌代貴子

永田和宏/著・(株)新潮社/発行

学問と学習の違いは?読書することの意味は?真のコミュニケーションとは?生物学者で歌人の著者が、学生と接する中で感じたことや、伝えたいことを軸に、人生を謳歌してほしいと願いを込めて書かれた本です。自分へのメッセージだと感じる部分があるかも知れません。読んで見てください。



## 「美容常識の9割はウソ」

中学3学年C組副担任・理科 村岡希美

落合博子/著・(株)PHP研究所/発行

論理的に、科学的に正しいスキンケアの方法を教えてくれる本です。日焼け止めの偉大さがわかります。高校の化学の知識と結びつく話も出てくるので、化学を教えている身としては嬉しいです。是非美しくなるための理論を学んでみてください。



## 「キケン」

図書館職員・司書 渡部安希子

有川ひろ/著・(株)新潮社/発行

「図書館戦争」や「植物図鑑」で有名な著者が理系大学生の日常を、恋バナあり危険ありのマニアックに、リアル?に描いた青春物語。コロナ禍で日々の生活が以前と異なる中、高校生活とは違う、勉強だけではない、自由だけど責任も負う、楽しい未来を想像してほしい。皆さんの進路が希望に満ちる一冊となるはず。



(原稿回収) 高2F 大須賀

高2F 小山

高2G 平山